

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社KSK

コード番号 9687 URL <http://www.ksk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河村 具美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 牧野 信之

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

TEL 042-378-1100

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,961	△4.1	277	△27.3	321	△29.5	154	△37.7
23年3月期第2四半期	6,214	1.3	381	27.8	456	3.4	247	22.9

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 154百万円 (△28.5%) 23年3月期第2四半期 216百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	23.87	—
23年3月期第2四半期	37.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,597	7,204	75.0
23年3月期	9,876	7,146	72.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,199百万円 23年3月期 7,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	△2.5	690	△1.3	710	△12.7	400	△7.5	61.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、[添付資料]P. 3「サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 7,636,368 株 | 23年3月期 | 7,636,368 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 1,160,416 株 | 23年3月期 | 1,160,416 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 6,475,952 株 | 23年3月期2Q | 6,600,950 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)
四半期決算説明会は平成23年11月22日開催予定です。
また、四半期決算説明会の資料につきましては当社ホームページのIR情報、IRライブラリ(IR関連資料)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 繼続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響で寸断されたサプライチェーンの復旧により、企業の生産活動が回復し個人消費も持ち直しが見られましたが、本格的な復興政策の遅れや欧米諸国の財政問題を起因とする円高や株価低迷などにより、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループが属する情報サービス産業界におきましては、長引く円高をうけて企業の生産設備投資の海外ソフトや、景気の減速懸念等からIT投資が減少あるいは先送りされるなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、新たな中期経営計画「基軸・V40」を策定し「エンゲージメント（企業風土）」「人材育成（仕組み）」「CS向上（戦略）」を経営の基軸とし、CS活動の推進や継続的な教育投資を行うとともに、全員営業による受注活動の強化を行ってまいりました。

また、市場へのきめ細かな対応に主眼を置き、同種業務を統合化し顧客対応力の強化と顧客拡大を図るため、組織の大幅な見直しを行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,961百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益につきましては277百万円（前年同期比27.3%減）、経常利益につきましては321百万円（前年同期比29.5%減）、四半期純利益につきましては154百万円（前年同期比37.7%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、当第2四半期連結累計期間および前年同四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(イ) システムコア事業

装置設計業務は堅調に推移したものの、組込みソフトウェア開発業務において受注の確保が思うように進まず稼働率が低下したため、売上高は1,319百万円（前年同期比15.7%減）、セグメント利益は273百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

(ロ) ITソリューション事業

携帯サイトコンテンツ変換ソフトのx-Servletが震災対応の需要で販売数を伸ばしましたが、データエントリー業務で大型案件の採算割れが発生した影響で、売上高は1,793百万円（前年同期比10.6%減）、セグメント利益は138百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

情報インフラの運用に関する部分の業務は、外部委託を活用し積極的に受注を拡大したことから、売上高は2,848百万円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は437百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末において、総資産は9,597百万円と前連結会計年度末に比べ279百万円の減少となりました。これは主に、流動資産において売掛金が239百万円、有価証券が償還等により102百万円それぞれ減少した一方で、固定資産において投資有価証券が新規購入等により101百万円増加したことなどによるものであります。

負債は2,393百万円と前連結会計年度末に比べ336百万円減少となりました。これは主に流動負債において、未払法人税等が158百万円、賞与引当金が146百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産は、7,204百万円と前連結会計年度末に比べ57百万円増加となりました。これは主に利益剰余金が四半期純利益の計上により154百万円増加し、一方で配当金の支払いにより97百万円減少したことなどによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ24百万円減少し3,335百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は146百万円（前年同期比453百万円減）となりましたが、これは主に税金等調整前四半期純利益の計上316百万円や売掛債権の減少234百万円などの増加要因があったものの、賞与引当金の減少146百万円や法人税等の支払額322百万円などといった減少要因があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は74百万円（前年同期比69百万円増）となりましたが、これは有価証券の償還による収入700百万円などの増加要因があったものの、有価証券の取得による支出599百万円及び投資有価証券の取得による支出200百万円などの減少要因があつたことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は97百万円（前年同期比0百万円減）となりましたが、これは配当金の支払額97百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期連結業績予想につきましては、平成23年5月13日付「平成23年3月期決算短信」にて公表しました業績予想から修正はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,760,228	3,735,312
受取手形及び売掛金	2,473,023	2,238,520
有価証券	602,297	499,718
商品	4,668	9,088
仕掛品	120,742	131,661
原材料及び貯蔵品	657	657
その他	708,485	674,913
貸倒引当金	△3,539	△3,543
流動資産合計	7,666,563	7,286,330
固定資産		
有形固定資産	746,507	739,178
無形固定資産	83,434	87,084
投資その他の資産		
投資有価証券	909,336	1,010,525
その他	472,987	476,485
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	1,380,323	1,485,011
固定資産合計	2,210,266	2,311,274
資産合計	9,876,830	9,597,605
負債の部		
流動負債		
買掛金	89,174	95,484
短期借入金	40,000	40,000
未払法人税等	333,801	175,167
賞与引当金	888,600	741,650
資産除去債務	3,698	6,460
その他	730,999	657,537
流動負債合計	2,086,274	1,716,299
固定負債		
退職給付引当金	466,035	487,961
役員退職慰労引当金	136,687	149,736
資産除去債務	41,511	39,550
固定負債合計	644,233	677,247
負債合計	2,730,508	2,393,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448,468	1,448,468
資本剰余金	1,636,996	1,636,996
利益剰余金	4,642,167	4,699,615
自己株式	△589,663	△589,663
株主資本合計	7,137,968	7,195,416
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,109	4,229
その他の包括利益累計額合計	4,109	4,229
少數株主持分	4,244	4,413
純資産合計	7,146,322	7,204,058
負債純資産合計	9,876,830	9,597,605

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	6,214,508	5,961,933
売上原価	5,126,825	4,931,721
売上総利益	1,087,683	1,030,212
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	31	3
役員報酬	91,674	94,582
給料及び手当	194,681	171,351
賞与引当金繰入額	40,316	37,827
退職給付費用	4,155	4,167
役員退職慰労引当金繰入額	13,098	13,048
減価償却費	34,993	35,708
その他	327,228	396,133
販売費及び一般管理費合計	706,179	752,822
営業利益	381,504	277,389
営業外収益		
受取利息	9,790	6,041
受取配当金	7,245	10,559
助成金収入	50,698	22,484
その他	7,851	5,845
営業外収益合計	75,585	44,931
営業外費用		
支払利息	425	430
自己株式取得費用	184	—
その他	—	18
営業外費用合計	610	449
経常利益	456,479	321,872
特別利益		
投資有価証券売却益	28,478	—
国庫補助金	21,999	—
受取保険金	—	1,600
特別利益合計	50,477	1,600
特別損失		
固定資産除却損	411	4,145
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	25,281	—
特別退職金	16,291	—
減損損失	—	2,885
特別損失合計	41,983	7,031
税金等調整前四半期純利益	464,972	316,440
法人税等	216,759	161,685
少数株主損益調整前四半期純利益	248,213	154,755
少数株主利益	232	168
四半期純利益	247,980	154,586

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	248,213	154,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,582	120
その他の包括利益合計	△31,582	120
四半期包括利益	216,631	154,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	216,398	154,706
少数株主に係る四半期包括利益	232	168

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	464,972	316,440
減価償却費	50,455	64,454
減損損失	—	2,885
貸倒引当金の増減額（△は減少）	31	3
賞与引当金の増減額（△は減少）	△37,500	△146,950
退職給付引当金の増減額（△は減少）	20,891	21,925
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	13,098	13,048
受取利息及び受取配当金	△17,035	△16,600
支払利息	425	430
有形固定資産除売却損益（△は益）	411	4,145
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	△28,478	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	25,281	—
売上債権の増減額（△は増加）	△52,145	234,502
たな卸資産の増減額（△は増加）	173,306	△15,339
仕入債務の増減額（△は減少）	△21,470	6,309
その他	△36,372	△49,493
小計	555,872	435,763
利息及び配当金の受取額	17,728	20,016
利息の支払額	△429	△429
法人税等の支払額	△87,738	△322,680
法人税等の還付額	114,839	14,056
営業活動によるキャッシュ・フロー	600,273	146,726
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△400,000	△599,080
有価証券の償還による収入	600,000	700,000
有形固定資産の取得による支出	△83,386	△38,272
無形固定資産の取得による支出	△20,555	△29,923
投資有価証券の取得による支出	△200,884	△200,938
投資有価証券の売却による収入	96,215	—
その他	3,247	93,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,363	△74,457
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△32,100	—
配当金の支払額	△65,981	△97,184
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,081	△97,184
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	496,828	△24,915
現金及び現金同等物の期首残高	2,735,780	3,360,228
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,232,608	3,335,312

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	システムコア事業	I Tソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,565,012	2,005,973	2,643,522	6,214,508
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,800	2,124	19,691	24,616
計	1,567,813	2,008,097	2,663,214	6,239,125
セグメント利益	356,133	148,929	419,988	925,050

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	925,050
セグメント間取引消去	30,610
全社費用（注）	△574,156
四半期連結損益計算書の営業利益	381,504

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,319,783	1,793,685	2,848,465	5,961,933
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,319	1,198	11,909	14,427
計	1,321,102	1,794,883	2,860,375	5,976,361
セグメント利益	273,013	138,421	437,404	848,839

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	848,839
セグメント間取引消去	39,652
全社費用（注）	△611,102
四半期連結損益計算書の営業利益	277,389

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成23年7月1日より、市場へのきめ細かな対応に主眼を置き、同種業務を統合化し顧客対応力の強化と顧客拡大を図ることを目的とした会社組織の大幅な変更を行いました。これに伴い当第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分も、対応する市場やビジネスの類似性の観点から見直すこととし、従来の「システムコア開発事業」「アプリケーションソフトウェア開発事業」「ネットワークサポート事業」「情報処理事業等」の4区分から、「システムコア事業」「ITソリューション事業」及び「ネットワークサービス事業」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。